

第 52 期

中間事業報告書

自 平成16年10月 1 日

至 平成17年 3 月31日

株式会社 **大森屋**

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社の第52期上半期(自平成16年10月1日 至平成17年3月31日)が終了いたしましたので、営業の概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当上半期におけるわが国の経済は、原油価格の高騰や輸出の鈍化により、回復しつつあった景気に足踏み感が強まりました。個人消費につきましては、依然として厳しい所得環境に加え、社会保険料・税負担増など将来への不安感などにより消費の浮揚力は乏しく、盛り上がりには欠け、低調に推移いたしました。

当業界におきましても、消費者マインドの改善は見られず、むしろ競争はますます激化し、店頭での販売価格の低下という大変厳しい状況でありました。

原料海苔につきましては、暖冬の影響を受け11月から12月にかけての年内生産は不作となりましたが、年が変わって海況が安定し、周期的な寒波の影響もあり漁期中盤から順調に生産枚数が上がりました。その結果、平成16年度の海苔生産量は平年並みになり、原料海苔価格もほぼ平年の水準に戻りました。

このような状況のもと、当社では利益重視の方針を維持しつつ、積極的に売上増強施策を展開し、新製品の開発、経費の更なる削減は勿論、新販路の開拓も含め、全社一丸となっ

た売上目標・利益目標の達成と経営効率の向上に取り組んでまいりました。

新製品につきましては、本年2月より発売しました「しじみわかめスープ」は発売当初よりご好評を得ております。また、「焼えびふりかけ」「旨辛とうがらしふりかけ」そして有明海産・一番摘みの海苔を使用した「日本のおいしいのり」につきましても、これまでにない商品の独自性により、順調に市場から評価を得ております。

経費につきましては、ローコストオペレーションを推し進めるため、生産コストの低減、物流費等の削減を図る一方、販売促進費についても効率的な使用により全社的な経営合理化に努力してまいりました。

その結果、当中間期の売上高は8,754百万円（前年同期比0.7%減）、経常利益は436百万円（前年同期比2.1%増）と減収増益となり、中間純利益は213百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

以下、品目別売上高の状況は次のとおりであります。

家庭用海苔につきましては、販売競争が一層激化する中で、販売促進活動に注力するとともに、採算重視の観点から販売施策の効率化を推し進めた結果、売上高は3,236百万円（前年同期比2.1%減）となりました。進物品につきましては、パーソナルギフト、冠婚葬祭等、幅広い販売ルートの拡充に努めましたが、2,067百万円（前年同期比4.6%減）となりました。ふりかけ等は、前年並みの1,438百万円（前年同期比0.9%減）となり、業務用海苔につきましては、コンビニエンスストア市場の中で、おにぎり、お弁当類が堅調に推移し、そして新規取引先の開拓も加わり、1,981百万円（前年同期比6.0%増）と大幅に増加いたしました。

中間配当につきましては、見送らせていただきました。

株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成17年6月

取締役社長 稲野孝治

中間貸借対照表 (平成17年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,543,827	流動負債	3,821,365
現金及び預金	743,151	支払手形	323,083
受取手形	50,249	買掛金	460,832
売掛金	2,371,891	短期借入金	2,000,000
たな卸資産	6,183,598	未払金	683,836
その他	195,181	未払法人税等	185,000
貸倒引当金	244	賞与引当金	99,785
		その他	68,827
固定資産	2,926,116	固定負債	274,364
有形固定資産	2,394,115	退職給付引当金	270,774
建物	622,305	その他	3,590
土地	1,410,886	負債合計	4,095,730
その他	360,923	(資本の部)	
無形固定資産	16,089	資本金	814,340
投資その他の資産	515,911	資本剰余金	1,043,871
投資有価証券	277,285	資本準備金	1,043,871
会員権	68,300	利益剰余金	6,472,838
その他	210,326	利益準備金	93,500
貸倒引当金	40,000	任意積立金	6,125,620
		役員退職給与積立金	450,000
		特別償却準備金	2,620
		別途積立金	5,673,000
		中間未処分利益	253,717
		株式等評価差額金	52,158
		その他有価証券評価差額金	52,158
		自己株式	8,995
		資本合計	8,374,213
資産合計	12,469,943	負債及び資本合計	12,469,943

- (注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 2,442,095千円
 3. 担保に供している資産
 建 物 180,387千円
 土 地 147,559千円

中間損益計算書 (自 平成16年10月1日 至 平成17年3月31日)

(単位：千円)

科 目		金 額	
経常損益の部	営業収益		8,754,184
	売上高		
	営業費用		
	売上原価	5,322,459	
	販売費及び一般管理費	2,996,577	8,319,036
	営業利益		435,147
	営業外収益		
	受取利息及び受取配当金	1,570	
	雑収入	2,745	4,315
	営業外費用		
支払利息	2,094		
雑損失	1,040	3,135	
経常利益		436,328	
特別損益の部	特別利益		
	貸倒引当金戻入益	506	506
	特別損失		
	役員退職金	45,500	
固定資産除却損	2,232	47,732	
税引前中間純利益		389,102	
法人税・住民税及び事業税		175,946	
法人税等調整額		340	
中間純利益		213,496	
前期繰越利益		40,220	
中間未処分利益		253,717	

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況

(平成17年 3月31日現在)

社名	株式会社 大森屋
設立	昭和30年 3月
主要な事業内容	当社は主として、海苔加工販売を事業とし、これに附帯する業務を営んでおりません。
資本金	814,340,400円
従業員数	197名
主要な事業所	
本社・大阪支店	大阪市福島区野田 4丁目 3番34号
特販部	大阪市此花区西九条 1丁目 1番60号
東京支店	東京都練馬区高野台 2丁目27番17号
福岡工場	福岡県柳川市大和町豊原111
広川工場	福岡県八女郡広川町大字日吉548番16
関西物流センター	兵庫県西宮市山口町阪神流通センター 1丁目93号

役員

(平成17年 3月31日現在)

代表取締役社長	稲野幸治
代表取締役副社長	稲野龍平
専務取締役	楠瀬好房
常務取締役	川口良夫
取締役	稲野達郎
取締役	菊本幹茂
取締役	松本嘉道
取締役	稲野貴之
常勤監査役	坂江和夫
監査役	村川義夫
監査役	叶智加羅

(注) 監査役のうち、叶 智加羅氏は「株式会社の監査等に関する商法の特別に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決算期	毎年9月30日
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ 公告して定めます。
配当金受領株主 確定日	利益配当金 毎年9月30日 なお、中間配当を実施するときの株 主確定日は、3月31日といたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞 決算公告に代えて貸借対照表および 損益計算書を当社ホームページに掲 載しております。 http://www.ohmoriya.com/
名義書換代理人	大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541 8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問合せ)	電話 ☎ 0120 255 100 株式関係のお手続用紙のご請求は 次の電話番号およびインターネッ トで24時間承っております。 手続用紙請求電話 ☎ 0120 351 465 インターネットホームページ http://www.daiko-sb.co.jp
同 取 次 所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

株主優待制度に関するご案内

1. 株主優待方法 毎年9月30日現在の株主に対し3,000円相当の自社製品を贈呈する。また、毎年3月31日現在の株主に対し2,000円相当の自社製品を贈呈する。
2. 贈呈基準 所有株式数1,000株以上の株主。

以上

楠

大森屋